

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
分子病理学

【研究課題名】 NASH 肝細胞癌の発がんメカニズム解析

【研究期間】 倫理委員会承認後 ～ 2020 年 12 月 31 日

【研究の意義・目的】

非アルコール性脂肪肝炎（NASH: nonalcoholic steatohepatitis）を背景とした肝細胞癌の発がんメカニズムを解明し治療標的となりうる分子を同定することを目的とする。従来、非飲酒者に生じる脂肪化を基本とした肝病変は進行することはないと考えられていたが、それらの一部はアルコール性肝障害に類似した組織像を示し肝硬変や肝細胞癌に進行する症例があることが明らかとなってきた。これらは、NAFL (nonalcoholic fatty liver) あるいは NASH (nonalcoholic steatohepatitis) として疾患概念がまとめられてきた。NAFL/NASH の病因としてインスリン抵抗性を基盤とする肥満、糖尿病、脂質異常症などが指摘されており、メタボリックシンドロームの増加とともに医療上の大きな問題となっている。実際、死亡した糖尿病患者約 2 万人の悪性新生物による死因のトップが肝癌 (8.6%) と報告されており（日本糖尿病学会）、肝癌発症の疾患背景として NAFL/NASH への注目が高まっている。

【研究の方法】

当大学医学部附属病院にて肝部分切除術あるいは生検が施行された NASH 症例、NASH を背景とした肝細胞癌あるいは転移性肝癌と診断された症例を対象とする。NASH 症例の非腫瘍肝組織、NASH を背景とした肝細胞癌組織、その対照として転移性肝癌症例の非腫瘍肝組織のホルマリン固定パラフィン包埋標本を検体として用いる。病理組織学的検討及びプロテオーム解析等の分子生物学的な解析を行う。臨床情報は連結可能匿名化し解析を行う。

【研究組織】

研究責任者 分子病理学 鰐淵英機

【本研究に関する問い合わせ先】

研究代表者 石井真美

住所 〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 医学研究科 分子病理学

電話 06-6645-3737

FAX 06-6646-3093

E-mail naomi-u@med.osaka-cu.ac.jp